

ハート通信



編集・発行 名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 術後の会
〒487-0016 愛知県春日井市高蔵寺町北2-52
TEL:0568-51-8711 FAX:0568-51-7115
URL: <http://www.nagoya.tokushukai.or.jp/>

コンテンツ 2P……ドクターヘリで救命
3P……術後体験記1・2
4P……術後体験記3
5P……術後体験記4
6P……医療相談会
7P……コラム・トピックス
8P……御挨拶



第16回 心臓血管外科 術後の会 開催

～昼神温泉 湯多利の里 伊那華～



▲名物の8種の足湯でゆったり



▲大橋総長による医療講座



▲マジックショーや南京玉すだれ

平成27年10月3日(土)、さわやかな秋晴れの中『心臓血管外科 術後の会』が開催されました。今年は約130名の参加者と共に、バス4台で長野県の昼神温泉に出掛けました。私は数年前に一度、当会に参加したことがありますが、その際入浴補助をしながら患者さんと楽しいひと時を過ごしたことを記憶しております。

今回、患者さんからの話の中で「この術後の会に参加するのを毎年毎年心待ちにしているんです」との声を聞き、術後の会の必要性を強く感じました。また、現地で開催された医療相談会にはたくさんの方たちがみえ、自身の健康管理について真剣に取り組んでみえる姿は素晴らしいと思いました。心臓血管外科術後の患者さんたちのお元気な姿、笑顔を見て、私たちも日々努力を重ね、より良い看護を提供しなければという思いを強くしました。次回も是非参加させて頂きたいと思います。

HCU 看護師 野村 あゆみ



ドクターヘリで救命



M. Kさん

「ここはどこだろう？」目が覚めてT市内の病院にいたと思っていた私の目に映ったのは孫の顔でした。その孫が「おじいちゃん、ここは愛知県の高蔵寺という所の病院だよ」と言われ、しばらく呆然としていたのが、10月27日の午後でした。

前日の10月26日午前、車で妻をT市内のショッピングモールに送り、降ろした直後、背中に激しい痛みと腹部に違和感を覚え、意識が遠のく中、ハザードランプをオンにしてサイドブレーキを引いたままで私の記憶です。

あとで聞いた話ですが、腹部大動脈瘤破裂で非常に危険な状態の中、T市内の救急病院に搬送、その後、ドクターヘリで30分で当病院のヘリポートに着陸、人工血管置換の緊急手術を受け、無事に終了、翌朝、意識を取り戻したというわけだったとのことでした。

駐車場での発症、ヘリの飛行可能な時間帯での搬送、当病院のヘリポートに直接、着陸できたことが幸いしたのだと聞かされました。

その後は、担当医、看護師、リハビリ、スタッフの皆様の献身的な看護、心温まるサポートにより先日、無事、退院をすることができました。

今後は、食生活、日常生活に十分な注意を払い、皆様に助けていただいた命を大事にして長生きをしたいと考える毎日です。



T. Mさん

T市内からドクターヘリで12月に徳洲会へ緊急手術を受ける為に運ばれてきました。病名は、急性大動脈解離でした。

手術スタッフの皆様のおかげで6時間半にもおよぶ手術をこなしていただき、命をつないで頂きました。ありがとうございました。感謝の一言につきません。

術後もICU、一般病室と先生をはじめ看護師さんの献身的な看護に感謝いたします。

看護師さんも、若い方が多く、明るく元気をたくさんもらいました。本当にありがとうございました。助けていただいた命、大切にしたいと思います。

術後体験記



K.Nさん

私はここ数年、病気らしきものをやった事はありませんでした。

4月初め、友人と花見の相談をしていた時の事、突然、全身の力が抜け、友人も異変を感じ119番へ。その間に身体の中で紙が裂けた様に感じ、とっさに自分でも119番。

救急隊員の方に「心臓が裂けた・・・」と伝えました。その後の事は覚えていません。質問には答えていた様ですが、気づいた時は、娘に徳洲会病院ICUだよ・・・と言われた時でした。それでも、その後の事は、夢の中の様で、次に思い出すのは綿棒に含まれた氷水、その後の水の美味しかった事で、あー生きているんだ～と感じた時でした。

退院してから息子から救急車で運ばれたS市の救急病院まで徳洲会病院の先生が飛んできてくれて、救急車の中で処置をしながら徳洲会病院まで行って手術をした事などなどを聞き、本当に多くの先生、看護師さん、スタッフの皆さんに命を助けられたのだと感謝で一杯です。入院中は、大橋先生初め諸先生方、看護師さんスタッフの皆さんの穏やかな言葉と雰囲気の中で励まされ、無事早期に退院する事が出来ました。まだ不安もありますが、二度目に与えられた命、寿命がつきるまで一日一日大切に生きていたいと思います。本当にありがとうございました。



R.Nさん

2015年6月11日夜、貴院に救急搬送されました。多治見市にある病院からの転院搬送という形で受け入れて頂きました。弱冠23歳の私に宣告された「急性大動脈解離」の響きは、それが一体何であるかは不明でしたが、危機的状況であることは、その逼迫した雰囲気から容易に推察することができました。「ああ、死ぬのかな」と、そればかりが脳裏をよぎり慄然としました。そんな状況の中、多治見市にある病院まで来て下さった小谷先生初め、多くの先生方に「大丈夫ですからね。」と力強い声を掛けられ、「名古屋徳洲会総合病院の先生方に全て身を委ねよう。」と両親共々一縷の望みを持ちました。深夜から早朝にかけて行われた手術は無事に済み、その日の夕方に目覚めました。生きているという尊さを実感した瞬間でした。

それからは、様々な肉体的・精神的な苦痛は伴いましたが、順調に回復していきました。卓越した手腕と知識をお持ちになる先生方、温かく見守り常に手助けして下さる看護師の皆様、明るく接して下さるスタッフや清掃担当の皆様、本当にありがとうございました。貴院で治療できたことを家族・親族共に心底喜びました。持病がある為、今後も永くお世話になります。どうか宜しく願い致します。

余談ですが、私は二年目の小学校教諭です。再度教壇に立ち、子どもたちと接せられることは望外の喜びです。私のクラスには小学校3年生ながら、医師や看護師を将来の夢にしている子もいます。この子どもたちが、貴院の皆様のような素晴らしい医師や看護師に成長した姿を思い描くのが私の楽しみの一つです。



H.Mさん (犬山市在住)

趣味のフラダンスも、術後半年後には再開！

今から6年前(平成22年)掛かりつけのI病院で、狭心症冠動脈ステント手術を受けていた時、三叉路へのステントは挿入出来ず、バイパス手術が必要とのことで、名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科を紹介されました。

主人は心臓の病気に罹ったことがありましたが、自分自身は、今まで心臓が痛いとかの自覚症状は全く無かっただけにとてもビックリしました。考える余裕も無く家族に連れられ、大橋先生、景山先生の診察を受け、冠動脈バイパス手術を受ける事になりました。正直、心臓の手術は恐ろしくて説明を受けた後も、あまり記憶が残っておりません。

平成22年6月1日冠動脈バイパス手術は無事に終り、家族の顔を見て生きている事とても嬉しく思いました。術後は、リハビリの指導を受け、歩く範囲も少しずつ広くなり、病院の階段も一步一步頑張って歩きました。退院直前に、理学療法士の森本さんと旧病院の駐車場の廻りを歩いたことを今でも覚えております。

退院後は、掛かりつけのI病院の循環器専門リハビリセンターへ、週に一回のリハビリを続けております。

趣味のフラダンスも、術後半年後には再開し、今では最年長ながら、犬山市芸能祭の発表会や、地域にある病院、施設等にボランティアとして出かけ、慰問活動を行ったり、楽しく頑張っております。

更に、術後の会のバス旅行も大きな楽しみの一つです。参加する度、いろいろと勉強になるお話も聞くことができ、友達も増え、次回またお会い出来る楽しみが出来ます。

振り返れば、幸い傘寿を迎える事ができ、次は米寿まで頑張りたいと思っております。

私の今日があるのは、各方面の先生方やスタッフの方々と家族の愛情にあったことと感謝しております。



E.Mさん (土岐市在住)



冠動脈バイパス手術後でも、スピードスケートで優勝！

3年程前から労作時に胸部違和感がありました。2014年から内服薬で様子を見ておりましたが、症状増悪した為(息苦しさがあり、短い上り坂でも、時々休みながらでないといけない状態でした)、治療を受けることにしました。

昨年5月、名古屋徳洲会総合病院を紹介され、心臓カテーテル治療を受ける為に、1泊2日入院のつもりで来院しました。カテーテルでの治療では済まない崖っぷちの状況と言われ、ビックリしましたが、翌日、心臓血管外科にて冠動脈バイパス手術を受けました。

術後約2週間で退院しましたが、術後2ヶ月ぐらい、象の足かと思うほど、パンパンにむくんでしまい、私も家族も大変不安でしたが、時間が経つにつれ、むくみはなくなりました。

退院後は、入院中と同じようにスポーツクラブにて、エアロバイクやランニングマシンでリハビリを継続して行いました。その後も、朝1時間、夕方1時間のウォーキングは毎日欠かさず行っております。週末にはゆったりとしたペースですが、15kmのランニングも行っております。

術後3ヶ月後には仕事にも復帰することができ、術後9ヶ月の今では、リハビリの成果があっけか、身体の調子もよく、学生時代から続けているスピードスケートも復帰することができ、市民大会で優勝を飾ることができました。何よりも、野球やゴルフなど様々なスポーツを楽しむことが出来る様になりました。

今一番気を付けていることは、食生活の塩分です。好物のラーメンの汁は飲ませてもらえません。

今後の目標は、定年後(2年後)、ホノルルマラソンに挑戦しようと考えております。



心臓血管外科 術後の会 医療相談会

ICU 看護主任 足立 峰



平成27年10月3日(土)、心臓血管外科術後の会で開催された『医療相談会』で、患者さんから頂いた様々な質問に対する答えの一部をご紹介します。術後で不安に思っていることや、日常生活で気付いた疑問など、今後、皆様のご参考になればと思います。

質問:術後の傷が痛むことがあります、どうすれば良いでしょうか。

回答:ほとんどの患者さんは、傷口に問題がなければ痛みは時間と共に減っていき、手術2ヶ月後には痛みがほぼなくなります(個人差があります)。痛みがある場合は、痛み止めを飲んだり塗ったりしましょう。また、不安が強くなったり、傷口を心配するあまり、それが傷みと感ずることもあるので、あまり気にしすぎないようにしましょう。気分転換やストレッチをされるのも、痛みを軽減する一つの方法です。ただし、傷が赤くなっている時、熱のある時、傷から血や汁が出ている時は、すぐに受診して下さい。

質問:再発が予防できる手術後の過ごし方を教えてください。

回答:動脈硬化を防ぐことです。動脈硬化の原因である糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満などの生活習慣病をコントロールすることが、手術後の再発を予防する、最も大切なことです。まずは、高血圧にならないように、薬のみに頼るのではなく、減塩(6g/日以下を目標)でバランスの良い食事を心掛けましょう。また、症状が出ない程度の運動(1日1時間、目標は約8千~1万歩)を目指しましょう。

質問:薬をたくさん飲んでいますが、このまま飲み続けるのでしょうか。

回答:手術の内容や術後の経過によります。心臓病以外の病気をお持ちですと、薬も増えてしまいます。薬が効きすぎたり、状態によっては薬が変更になったり、減らしたりできるかもしれませんので、受診時に医師に相談してみてください。

質問:足がむくみます。

回答:体のむくみはさまざまな原因で起こりますが、心臓の調子が悪いと、体重が増えて、手足などがむくむことがあります。その場合は、毎日の塩分制限と水分制限も含めて体重管理が必要となります。心不全になっていないかの目安として、毎朝、体重と血圧を測りましょう。心臓のバイパス手術で、足の静脈を取ったあとに足のむくみが生じる場合がありますが、だいたいは徐々に良くなりますのでご安心下さい。

輸血後感染症検査の ご協力についてお願い



副看護部長
中村 美津

当院で心臓血管外科手術を受けられた皆様にはお元気にお過ごしのことと思います。
さて、今日は退院後の輸血後検査についてお願いがあります。

現在、輸血用血液製剤は、安全対策として感染症に対する検査がされており、その精度は向上し、危険性はかなり減っておりますがゼロではありません。また、当院でも厚生労働省の「輸血療法の実施に関する指針」をもとに実施しております。それに基づき、輸血を行った2～3カ月後の輸血後感染症検査の実施をお勧めしています。

輸血後の患者の皆様の安全確認、及び輸血製剤による感染症の罹患が明らかになった場合の早期対応のためにも、輸血後感染症検査のご理解とご協力を頂きたいと思っております。

退院後、当院の外に来院を受診をされない患者さんについては、外来受診をされる病院にご相談をお願いいたします。

輸血後感染症検査の検査内容は下記の3つです

- B型肝炎ウィルス検査:HBV核酸増幅検査(NAT)
- C型肝炎ウィルス検査:HCVコア抗原検査
- エイズウィルス検査:HIV抗体検査



トピックス

当院心臓血管外科の手術実績が、全国誌『いい病院 2016』に、
東海地区“第1位”、全国“第15位”で掲載されました。



地方別ランキング 心臓手術データ

順位	病院名	手術数	死亡率	合併症発生率	再手術率	再入院率	再入院期間	再入院費用	再入院回数	再入院率	再入院期間	再入院費用	再入院回数	再入院率
1	名古屋国際総合病院	372	95	74	15	78	115	19	1	愛知	春日井市 056-91-4311	7	大橋外科	藤田進
2	名古屋第一赤十字病院	367	97	94	8	167	55	33	19	愛知	052-81-5111	9	伊藤内科	前川厚生
3	名古屋大学病院	339	103	29	24	98	71	34	2	愛知	052-741-2111	16	榎本内科	古森公浩
4	豊橋ハートセンター	282	90	90	0	144	30	8	3	愛知	053-37-3377	3	大川内科	小山 泰
5	豊田保健衛生大学病院	258	87	43	5	69	55	22	3	愛知	056-39-2111	9	高木 誠	新藤浩治
6	名古屋ハートセンター	216	59	56	4	117	24	8	5	愛知	052-719-2816	4	北村内科	深谷佳介
7	市立三河市病院	209	71	69	10	66	27	29	2	三河	059-35-6-1111	4	岡本 浩	西園剛
8	静岡県立総合病院	204	39	29	20	68	43	30	1	静岡	054-347-3111	3	坂口元一	藤木 力
9	岐阜ハートセンター	171	38	31	16	68	25	19	2	岐阜	058-277-2277	4	越前重典	福川健史
10	伊勢赤十字病院	168	42	26	12	50	49	13	2	三重	0596-28-2171	5	徳井俊也	西瀬幸典

全国ランキング 心臓手術データ

順位	病院名	手術数	死亡率	合併症発生率	再手術率	再入院率	再入院期間	再入院費用	再入院回数	再入院率	再入院期間	再入院費用	再入院回数	再入院率
1	神田記念病院	575	190	181	131	298	145	7	10	453				
2	国立循環器病研究センター	721	129	114	40	205	207	31	40	284				
3	心臓病センター-徳島病院	668	105	97	7	205	150	12	53	4				
4	埼玉医科大学国際医療センター	604	165	151	32	231	107	17	51	129				
5	名古屋国際総合病院	582	141	59	85	183	91	6	44	7				
6	小倉記念病院	547	150	148	74	248	35	0	33	10				
7	川崎中病院	533	27	8	20	28	426	1	29	0				
8	大阪大学病院	525	79	59	35	222	55	57	115					
9	順天堂大学順天堂病院	492	128	122	24	244	54	3	24	124				
10	千葉西総合病院	490	109	95	0	108	99	0	148	0				
11	自治医科大学さいたま医療センター	482	69	65	10	231	106	8	34	15				
12	大和病院	412	102	92	54	174	61	1	16	8				
13	イムス葛飾ハートセンター	403	107	100	49	133	90	5	13	3				
14	新東京病院	393	54	49	48	190	84	6	15	4				
15	名古屋国際総合病院	372	95	74	15	78	115	19	19	1				

ご挨拶

心臓血管外科 術後の会 会長 松原 光男



昨年は、第16回心臓血管外科術後の会を昼神温泉にて開催することができました。多数の会員の皆様にご参加頂き、会員相互に交流を深めて頂くことができ大変嬉しく思います。

もう既に今年の術後の会の開催場所を検討致しております。病院から程遠くなく(約2時間)、昼食は美味で、医療相談会を行い、200名がゆったりとできる会場を探しております。会場について、ご意見ご要望があります方は、術後の会事務局までご連絡下さいませお願い致します。

また、『手術数でわかる いい病院2016』に名古屋徳洲会総合病院が東海地区第1位、全国第15位に掲載されておりました。私たちは、近隣に「24時間体制で、豊富な経験から熟練された技術で、きめ細やかに手術をされるいい病院」がありますので安心して術後の生活を送ることが出来ています。

さて、私たち患者も術後の会の運営に参加するようになり、三年目を迎える事になりました。現在、術後の会の運営にご協力して頂ける幹事を募集しております。ご協力して頂ける会員さんは事務局までご連絡頂きたくお願い申し上げます。

ご挨拶

総長／心臓血管外科部長 大橋 壯樹

皆様お変わりありませんでしょうか？また、術後の経過でお困りのことはありませんでしょうか？

名古屋で手術をさせていただき18年がたちました。同じ地域で長年にわたる心臓血管外科手術と術後の患者さんを見させていただいたことは私にとって大切な宝となりました。

昨年は700例という過去最高の手術数となりました。また、本年より東京西徳洲会病院(東京都昭島市)においても手術を開始することになりました。名古屋徳洲会で培ったノウハウを生かし、関西(松原、野崎、宇治)のみならず東京での心臓手術も充実させていきたいと思っております。最後に、これからも名古屋を中心に頑張っ

